

明石公園

幸せスポット巡り

～Happy Spots in Akashi Park～

幸せスポット



♥ No.1 逆さペアやぐら

明石公園の2基の櫓(坤櫓、巽櫓)は、1619年の築城当初から現存する三層櫓で、国の指定重要文化財です。また、三層櫓が2つ並んでいる様子は全国的にあまりありません。このため、2基の櫓とともに、池の水面に映る2つの櫓の姿を含め、4基の三層櫓が同時に見られるのは、明石公園だけかもしれません。



♥ No.2 縁結び・夫婦円満のクスノキ

このクスノキは、幹と幹が太い枝により途中でつながっているもので、このような木を「連理の木」と呼んでいます。



連理は珍しいもので、幹と幹が繋がっている様子は縁起が良く、縁結びの象徴とされています。明石公園では、武蔵の庭園の東側で見られます。

♥ No.3 ハートを探せ

西芝生広場の北東付近から二ノ丸に向かって石段を上がっていくと、石段の左側にハートの形をした模様のある石があります。



石の表面にあるハートの形は、藻のなかまと菌のなかまが重なった地衣類と呼ばれるものです。石垣にはよく生えているもので、この地衣類はこのような形に偶然に生育したものです。

♥ No.4 桜に抱かれたモミジ

桜堀の入口付近で、桜の幹のくぼんだ所からモミジが生えてきます。くぼんだ所に溜まった落ち葉が腐って土になり、そこへモミジの種が飛んできて、自然に生えてきたものと思います。



♥ No.5 水鳥たちの祝福

剛ノ池は、四季を問わず色々な水鳥が見られる野鳥の宝庫です。冬になるとシベリア方面からカモやユリカモメが渡ってきます。



ユリカモメは人懐こく、売店で販売しているエサをあげるとすぐに飛んでやってきます。飛んでいるユリカモメに囲まれると、まるで祝福を受けているかのような幸せな気分になることでしょう。